歴史探訪講座 ～「いだてん」嘉納治五郎ゆかりの御影～ を実施しました

令和元年 11 月 1 日（金）、神戸市民生協　歴史探訪講座を実施しました。講師の道谷卓先生とともに、抽選で当選された組合員の方々 40 名様とご一緒に大河ドラマ「いだてん」嘉納治五郎ゆかりの御影を訪ねました。
以下、講座の一日を振り返ってみました。

＜「嘉納治五郎」と神戸：道谷先生のレジメより抜粋＞
今年の大河ドラマ「いだてん～東京オリムピック噺（ばなし）～」は、日本がはじめてオリンピックに参加した1912年のストックホルム大会から、1964年の東京大会開催までの52年間を描く作品で、その中でドラマ前半の主人公・金栗四三の恩師として役所広司さんが演ずる人物が嘉納治五郎だ。そして、この嘉納治五郎が、神戸市東灘区御影の出身で、この地域の近代教育の基礎を築いたことを知る人はそれほどいないように思う。
嘉納治五郎は、1860年（万延元）に、当時の御影村で生まれ、母が亡くなる10歳まで御影の地で暮らした。その後は、父とともに東京に移り、講道館柔道を創設し「柔道の父」と言われるようになった。柔道を志す人たちにとっては世界のどこに行ってもその名が通用する日本人と言っても過言ではない。また、日本のオリンピック初参加に尽力し、近代日本のスポーツの礎を築いた人物として「日本五輪の父」とも呼ばれている。
晩年、今や全国屈指の進学校として知られる「灘中学校」の創設に携わったり、ふるさと神戸・御影を何度も訪れ地域の人たちと多くの交流を持った。
そこで、今回の神戸市民生協・歴史探訪講座では、嘉納治五郎の生まれ故郷・神戸に残るゆかりの史跡をたどることにしよう。

御影公会堂にて

2019 年 11 月 1 日午前 8 時、JR 神戸駅観光バス駐車場にご集合いただき、観光バスにてまずは御影公会堂へ向かいました。

神戸の建築家・清水栄二による設計のもと、1933 年に竣工された御影公会堂は、当時から御影町の公会堂として利用されてきました。2017 年 4 月より嘉納治五郎コーナーが設置され、嘉納治五郎の銅像とともに、多くの関係資料が展示されています。

ゆかりの地散策

御影公会堂の周辺には、徒歩圏内にゆかりの地がいくつかあり、各所で道谷先生のお話を伺いながら散策しました。

嘉納治五郎は、ここで散策した御影第二小学校跡の碑や御影小学校、御影師範学校跡などで、講演等を行っていたそうです。

阪神御影駅の高架下に湧いている泉「沢ノ井」は、嘉納家にまつわる伝説が伝えられています。

ゆかりの地散策後、観光バスで吟醸工房の浜福鶴に向かいました。日本酒の試飲やお土産の購入が楽しめる浜福鶴では、皆様各自でお楽しみいただきました。

浜福鶴

櫻正宗記念館「櫻宴」

浜福鶴より徒歩数分、昼食会場である櫻正宗記念館の「櫻宴」に到着しました。

歴史ある櫻正宗のお食事処であるこちらでは、ちらし寿司や粕みそ陶板焼きなど、季節の料理を味わっていただきました。

お食事後の自由時間には、１Ｆの酒造ショップ等で試飲やお買い物を皆様楽しんでおられました。

昼食後、徒歩数分の距離にある菊正宗酒造記念館に到着しました。菊正宗酒造記念館は古来の酒造用具等が収蔵されており、国の重要文化財に指定されています。

昔の御影を写した航空写真が入り口すぐにあり、嘉納治五郎生家の跡が確認できるとのことで、道谷先生よりご説明がありました。また、記念館の館長・後藤さんからも貴重なお話を伺うことができました。

お話の後は、皆様各自で展示品の見学や利き酒をお楽しみいただきました。

菊正宗酒造記念館にて

←嘉納治五郎生誕地の跡

嘉納治五郎生誕地の碑→

その後、10 分ほどバスに乗車し、嘉納治五郎生誕地の跡、生誕地の碑を訪れました。

生誕地の跡は現在市民公園になっており、跡地を示す看板には道谷先生による文章が記載されています。

そこから徒歩ですぐの場所、菊正宗酒造本社の横に、生誕地の碑が設置されています。

和田岬砲台にて

生誕地を巡った後は、観光バスにて約 30 分移動し、三菱重工神戸造船所内にある和田岬砲台に向かいました。
和田岬砲台は嘉納治五郎の父・治郎作が築造に携わったとのことです。
ここでは砲台の外・中それぞれ順番に見学していただき、砲台職員の方より詳しいご説明をいただきました。

再び観光バスに乗車し 30 分後、長田区のふたば学舎に到着しました。
ふたば学舎は、嘉納治五郎が講演を行った数多くの場所の中の一つであり、建物と部屋が現存している貴重な施設です。

講堂で道谷先生のお話を伺い、学舎内の見学をしていただきました。

ふたば学舎

灘中学校・高等学校

最後は再び観光バスにて 30 分、嘉納治五郎が設立に尽力した灘中学校・高等学校に向かいました。
灘中学校・高等学校の本館講堂は、ふたば学舎と同じく嘉納治五郎が講演を行った場所です。
本館講堂だけでなく、校内にある嘉納治五郎の銅像前や、柔道場にて道谷先生のお話を伺いました。

普段はなかなか入ることができないということもあり、皆様かなり興味を持たれて見学されていました。

その後は一路バスにて神戸へと向かいました。皆様からは、「道谷先生の説明が分かりやすく、興味がわきました。」「神戸に住んでいても知らなかったことが多く、勉強になりました」など、様々なご意見を頂戴いたしました。

この歴史講座も 6 回目を迎えます。当組合としましては、至らぬ点も多々ございましたが、組合員の皆様のご協力のおかげで、今回も無事に講座を終了することができました。この場を借りて深く御礼申しあげます。